

特別展

利休の孫 千宗旦三百五十年遠忌記念

元伯宗旦展

残された手紙にみる生涯と茶の湯

けーち
きり
し
大須
元伯宗旦



千利休のわび茶を極め、三千家の基礎を築いた元伯宗旦。
表千家に伝来する手紙をひもとき、わび茶の心をしのびます。

2007年10月6日(土) — 12月20日(木)

休館日 毎週月曜日。但し10月8日(月・祝)は開館、翌9日(火)は休館

開館時間 9時30分—16時30分(入館は16時まで)

入館料 一般1000円・学生800円・団体(20名以上)800円/星茶含む

主催 表千家北山会館

後援 京都新聞社・京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局

表千家北山会館

京都市北区上賀茂桜井町61 〒603-8054
電話 075-724-8000 FAX 075-724-8007
<http://www.kitayamashikan.jp>

特別展 利休の孫 千宗旦三百五十年遠忌記念

元伯宗旦展

残された手紙にみる生涯と茶の湯

千利休にはじまる千家の茶の湯は、孫の元伯宗旦の時代に大きな発展をとげました。

宗旦は八十一年の生涯に、三人の子息をそれぞれ大名へ出仕させ、利休流の茶を権威づけ、宗旦四天王とよばれる弟子達を育てました。江岑宗左に母屋（不審菴・表千家）を譲り、千家の家督をつがせ、末子仙叟宗室とともに裏屋敷へ隠居し、今日庵（裏千家）を開きました。さらに一翁宗守に官休庵（武者小路千家）を開かせ、子息それぞれが千家流の茶をもって家が立ち行くよう心をくだきました。その背後には血のにじむような努力があったと思われまします。

今年は宗旦三百五十年遠忌の年にあたります。表千家には、宗旦が息子江岑宗左（表千家四代）にあてた約二百四十通の手紙が残されています。千家の将来を托す息子たちへの思い、自身の健康や家族の悩みなど、宗旦の肉声が伝わる約四十通を厳選し、読み下しと解説を付して展覧いたします。

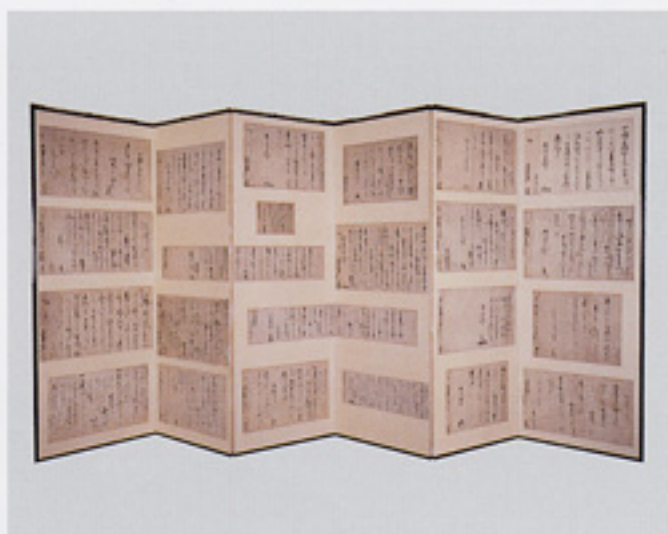
宗旦の人となりや時代の空気を充分に感じていただける機会となることを願っております。



いくとせの春に心をつくしきぬ あわれとおもへ三吉野の花



板御所（近衛）様から元伯宗旦が拝領した東福門院作 絵巻「梅の絵」



大徳寺和尚方 宗旦、江岑宛書状貼付屏風

「茶の湯文化にふれる市民講座」の開催
テーマ「元伯宗旦——生涯と茶の湯——」

宗旦書状の展示にあわせて、宗旦の人物、交友、道具、茶室、逸話など、さまざまな面から宗旦の茶の湯にせまる市民講座を開催いたします。

10月13日（土）「元伯宗旦の生涯と茶の湯」

久田宗也氏（表千家） 聞き手・熊倉功夫氏

10月27日（土）「宗旦の逸話をめぐって——その背景と意義——」

生形貴重氏（千里金蘭大学教授）

11月10日（土）「宗旦と茶室」

中村昌生氏（京都工芸繊維大学名誉教授）

11月24日（土）「宗旦の押」

堀内宗心氏（表千家）

12月8日（土）「千宗旦の茶具」

林屋晴三氏（東京国立博物館名誉館員）

時間 14時～16時 定員 200名（1回）

参加費 2000円（呈茶席での呈茶、特別展見学を含む）

※電話で事前に申し込みが必要（先着順）



当館への交通について

- JR「京都駅」より
- 地下鉄烏丸線国際会館行「北山駅」下車
4番出口をでて西へ徒歩約5分
- タクシー約30分
- 阪急電車「西条烏丸駅」より
- 地下鉄烏丸線乗り換え「北山駅」下車
- 京阪電車より
- 「三条駅」より地下鉄乗り換え「烏丸御池駅」
乗り換え「北山駅」下車
- 「出町柳駅」よりタクシー約15分

表千家北山会館

〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町61
電話 075-724-8000 Fax 075-724-8007
<http://www.kitayamakakan.jp>